

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		障害者等に対する理解促進研修・啓発					所管	福祉部 障害福祉課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	195	計画事業名	福祉のまちづくり推進			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 42 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進					[事業開始] 平成28年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]		障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民、事業者 最終的な対象 : 区内在住の障害者									
	事業目的	障害者等に対する理解を深めるとともに、障害を理由とした差別の解消を推進する。									
	事業内容 [H30年度]	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルプマークの作成 3,000個</li> <li>心のバリアフリー事業者講習会の実施 1回 (平成31年1月21日)</li> <li>他課・他団体主催の事業における障害者差別解消法出張説明会の実施 2回 (平成30年12月21日、平成31年2月6日)</li> <li>他課・他団体主催の事業における啓発・周知 3回 (平成30年4月27日、8月28日、平成31年1月15日)</li> <li>台東区カラーユニバーサルデザインガイドラインの策定</li> </ul>									
	委託の有無	一部委託	委託内容		台東区カラーユニバーサルデザインガイドライン監修及び検証						
	補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	心のバリアフリー事業者講習会	回	1	1	1	1	1	100.0%		
		出張説明会	回	2	-	-	2	2	100.0%		
	成果指標	講習会参加人数	人	50	29	46	18	50	36.0%		
		出張説明会参加人数	人	70	-	-	67	70	95.7%		
	決算額 (単位:千円)					H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				690	642	544			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				3,567	3,352	1,763			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				625	573	523			
総経費				66	69	21					
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				4,258	3,994	2,307				
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
	一般財源(区負担額)				302	367	259				
課題及び今後の進め方	一般財源(区負担額) 3,956 3,627 2,048 心のバリアフリー事業者講習会は、事業者が参加しやすい秋季に開催時期を見直すとともに、区内事業者が集まる場などに出向き更なる周知を図っていく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	障害者差別解消法に加え、平成30年10月に東京都障害者差別解消条例が施行された。同法及び同条例について、引き続き啓発活動に努める必要がある。								
	効率性	3	障害福祉課職員が他課・他団体主催の事業に出向き、差別解消法の啓発・周知を行うことで、効率的に区民や区内事業者へ伝えることができた。								
	手段の適切性	3	平成29年度まで実施していた障害者差別解消法講演会を、12月の障害者週間に実施する講演会に一本化した。また、他課・他団体主催の事業の場において、パンフレット等を配布し啓発に努めた。								
目的達成度	2	出張説明会は2回実施し、参加者に対し差別解消法について周知・啓発を行うことができた。一方、心のバリアフリー事業者講習会は、参加人数が目標を下回った。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
他課や他団体と連携したことで、平成29年度と比較して本事業をより効率的・適切に実施し、事業者や区民により広く周知を行えた。しかし、心のバリアフリー事業者講習会の参加人数は目標を下回ったため、講習会の開催時期や周知方法について見直しを行う。						改善		拡大改善維持縮小廃止・終了			